

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901020

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成24年度～平成26年度 ・事業概要 ①おうむアグリファームへの預託費の一部補助 ②自農場で育成する場合に要する設備等の整備に要する費用の一部補助 ③育成舎等を増改築し、飼養頭数を増頭する場合における費用の一部補助 ・対象農家 搾乳農家66戸のうち、3ヶ年で7割農家が申請すると想定(66戸×70%÷3年≒15戸) ・事業費 15,000千円×3年=45,000千円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	農業経営改善等緊急対策事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	事業申請農家戸数	関係課	#N/A	
事業目標	15戸	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	本町の酪農家が安定的な営農活動を図るため、雌雄判別精子の交配による優良雌牛を生産し生乳生産量の拡大を図っているが、増頭となった雌子牛が確実に飼育され搾乳されるよう飼養に要する経費の一部を補助する。 ※ 3ヶ年の緊急対策事業とし、1戸当たり補助上限を3ヶ年で1,000千円とする。					雌子牛の飼養に要する費用の補助 事業費 15戸×1,000千円=15,000千円	
	事業費(千円)	15,000	0	0	0	0	15,000
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	15,000					15,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,920	0	0	0	0	8,920
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	8,920					8,920	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】						雌子牛の飼養に要する費用の補助
		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値					申請農家戸数 15戸
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	59%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	59%	
	事業進捗状況					☆☆☆	

事業名	農業経営改善等緊急対策事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	辻 栄 浩 二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	育成牛の安定した飼養管理								
【抱える課題やニーズは】	農業資材等の高騰により後継牛の安定更新に支障をきたし、生乳生産量が低下するなど農業経営に悪影響を及ぼしている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	雌牛の安定した飼育	① 事業申請者戸数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>15戸</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>23戸</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>153.3%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	15戸	実績値	23戸	達成度	153.3%
目標年度	平成24年度										
目標値	15戸										
実績値	23戸										
達成度	153.3%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生乳生産量の確保及び増大	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	<table border="1"> <tr> <td>預託料・育成牛施設・哺乳牛施設に係る助成</td> <td>助成の対象となる事業を行った農家に対して、事業に要した費用の一部を補助した。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	預託料・育成牛施設・哺乳牛施設に係る助成	助成の対象となる事業を行った農家に対して、事業に要した費用の一部を補助した。								
預託料・育成牛施設・哺乳牛施設に係る助成	助成の対象となる事業を行った農家に対して、事業に要した費用の一部を補助した。										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、本町農業の衰退が懸念されることから、酪農経営の安定化を図るために必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	生乳生産量の増を図ることは、酪農経営の安定を目指すうえで有効である。申請戸数は計画を上回ったが、事業費は予算額を下回っている状況である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	農家のニーズに沿った利用が可能であり、効率的な効果が得られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

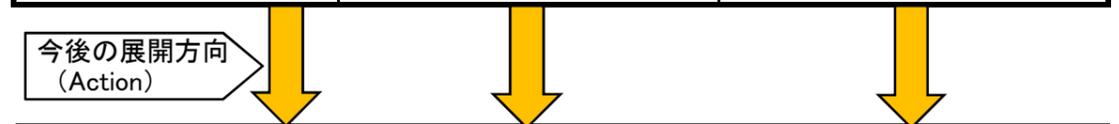
公平	判断の理由	補助事業を行うにあたり、自己負担と補助上限を定めており、公平であると考える。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
申請戸数は計画を上回ったが、事業費は予算額を下回っている状況にある。		



継続/拡充		
申請戸数が多かったことから事業の認知はされていると考えられるので、生乳生産量を拡大するために、取り組みやすい制度内容を再検討する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止